

木材ジャーナル名古屋・せぶ

平成30年9月号 No.136

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

第69回全国労働衛生週間(10月1日~7日)

こころとからだの健康づくり みんなで進める働き方改革

全国労働衛生週間は、昭和25年に第1回が実施されて以来、本年度で第69回を迎えます。

本週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的な労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保と快適な職場環境の形成を図ることを目的とし実施するものです。

愛知県内における業務上疾病者数はここ数年減少していましたが、休業4日以上業務上疾病者数は407人と対前年比80人、24%の増加となり、このうち死亡者数は6人と対前年比3人の減少となりました。死亡者数6人のうち、2人が長時間労働等を原因とする脳・心臓疾患や精神障害によるものとなりました。

また、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み又はストレスを感じる労働者は、依然として半数を超えており、愛知県内においても、仕事を原因としたメンタルヘルス不調(精神障害等)の発症は年々増加し、労災請求件数も急増しています。

これらを防止するためには、メンタルヘルス対策の推進が重要であり、ストレスチェックを含むメンタルヘルス指針に基づいた取り組みにより、労働者が安心して相談出来る窓口の整備や集団分析による職場環境改善などの一層の推進が必要です。

各事業場におかれましても全国労働衛生週間の実施について周知いただくとともに、これを契機として事業場における自主的な労働衛生管理活動の定着に向けて積極的に取り組みをお願いします。

実施者の実施事項

労働衛生水準の、より一層の向上及び労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の定着を目指して、各事業場においては、事業者及び労働者が連携・協力しつつ、次の事項を実施する。

全国労働衛生週間中に実施する事項

- ア 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- イ 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
- ウ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
- エ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
- オ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを

今年 は 西部 木材 港 開港 50 周年

3

桐山 富治 さんは 正に “西部 の 男”

片 桐 峯 生

(株) 木材 工業 新聞 社

今年、名古屋西部木材港は昭和43年12月の開港で50周年を迎えた。背後地には名古屋木材産業が関わる企業群の西部木材団地がある。開港50周年を迎え、深い関わりのある名古屋港木材産業協同組合（以下木産協）が①記念式典②記念誌発行③記念植樹を記念事業として企画した。筆者は今、記念誌の編纂に携わっているが、木産協誕生までの経緯と名古屋西部木材港との関わりで「これだけは是非、記憶して頂き心に留め置いて欲しい」の思いで筆を執った。

<西部木材団地進出と名古屋新木材街組合設立>

西部臨海工業地帯に立地する引き金になったのは昭和34年9月に襲った伊勢湾台風で、製材・合板企業が甚大な被害を与えた教訓を生かし、先人達が「我々も西部臨海工業地帯への移転に積極的に取り組もう」で、伊勢湾台風のと業界は敏感に反応し、35年に名古屋新木材街促進協議会を設立しそのスピードと業界の団結力は「すごい」の一語に尽きる。その推進者は鈴木達次郎さん（材惣木材）、上地武さん（上地木材）で今は故人となったがすごい人だった。

昭和41年に西部臨海工業地帯の工事地区へ124社が申し込み、協議会加盟企業で希望者による名古屋新木材街組合が設立され行政、そして管理組合の窓口になった。その間、6年間という速さで驚きだ。

<名古屋港木材産業協同組合（木産協）の設立と名古屋港管理組合、飛島村・弥富市との関わり>

木産協は昭和50年3月に設立され、初代理事長に桐山富治さん（名古屋木材）が就任した。国がらみの円滑な事業推進をするには法人組合が必要であるとし前身の名古屋新木材街組合から発展的に誕生した。

一番に申し上げたいのは木産協理事長は組合運営に加え、東洋一の木材専用港を管理する名古屋港管理組合、西部木材団地が立地する飛島村・弥富市、そして蟹江警察署との色々な折衝はすべて理事長（同時期に設立された西部臨海工業地帯企業連絡協議会が折衝の窓口で歴代の木産協理事長が会長）の仕事で、名古屋西部木材港に関わる民間団体・企業の意見をまとめる重要な幹事長役であること。

木産協理事長は、初代が桐山富治さん、そして笠木和雄さん、鈴木和雄さん、現理事長は嶺木昌行さんで4代続いているが、初代の桐山さんは昭和50年3月に就任以来、平成12年2月までの25年間を全力で務められた。

その間、管理組合との水面貯木場（公共・専用）及びそれに関連した貯木場の埋め立てなどの再編整備問題、西部木材団地内及び周辺とのライフライン整備問題、飛島村・弥富市との西部木材団地への公共バス乗り入れ、働く従業員・家族の住宅問題や産業廃棄物処理問題、地震・津波の防災対策、蟹江署との団地内の防犯対策など、まだ解決に至らない案件が沢山あって道半ばだが全力投球し取り組まれた。桐山さんが四分の一世紀に亘り名古屋西部木材港、そして木産協に関わって頂いたからこそ今日の姿がある。正に「西部の男」である。

<先人達の財産と遺志を継ぐ>

名古屋西部木材港は有数の外材輸入港であり、背後の西部木材団地はトップクラスの内外材集散地、かつ木材加工基地である。先人たる第1世代の人達が築いた貴重な遺産を、今の世代の人達はその優位性を生かし苦労は多いが「改革」を胸にしっかりと受け継いでいかなければならない。

恭子のワーキングライフ

木場すずめ

“みなとの森”

『 節 目 』

名古屋市から国道302号線交差点「梅之郷」を南へ1km、交差点「木場一丁目」を右折し道なりに7km走行するアクセスで「富浜緑地公園」（愛知県弥富市富浜1丁目）へ到着します。

皆様もご存じのように、去る6月11日「富浜緑地公園」で「名古屋西部木材港開港50周年記念植樹」が開催されました。この記念植樹は、名古屋港管理組合の承認を得て「株式会社Q-GARDEN」〔横浜市代表取締役 小島理恵氏〕に植栽プランニングと施工、式典の準備を依頼して実現しました。

潮風や直射日光に強く病虫害や大気汚染にも耐える常緑広葉樹や、生育すると30mにも達するニレ科の落葉広葉樹、そして針葉樹などの苗木25本の成長した光景を思い描き“みなとの森”と命名されました。

“みなとの森”のシンボルツリーは、外材輸入業者で取扱量が一番多く緑のある「ベイマツ」。そのベイマツは記念植樹責任者の江口達郎氏が、北海道で保管されていた希少なベイマツの苗木40本の情報をキャッチし、そのご尽力で記念植樹に相応しい大変入手困難な苗木を購入するに至ったそうです。そして“みなとの森”植栽計画で、ベイマツ10本と緑地に合った四季を感じられる在来種のオオシマザクラ、シラカシ、エゴノキ、ハルニレ、エノキが植樹されました。また、当日植樹されなかった30本のベイマツ苗木については、協同組合員8企業が買い受けて各企業のシンボルツリーとして大切に育てられているようです。

当社は本社エントランスにベイマツ1本を鉢植えにして、西部事務所の緑地に2本植樹しています。現在気になっている点は、病気になりにくい土壌＝「土づくり」と苗木の時は土が湿った状態が良い＝「水やり」です。成長と共に土が乾いている状態が良いようで「土が乾いている間に根が育つ」その環境が大切なのだそうです。また季節やその日の湿度によっても乾燥スピードが変化するというので、ベイマツ苗木の生育を楽しみつつ日々目が離せない存在になっています。

自分の過去を振り返ってみて、「〇〇の時、△△があったんだよな」なんて思い起こすこと、ありませんか？

私の場合ですと、

- ・2度目の大学受験の時、昭和天皇が崩御された。
- ・名古屋木材に入社した年、阪神淡路大震災が発生し、地下鉄サリン事件が起こった。
- ・名古屋木材を一度離れた時、退職の翌日に東海豪雨が発生した。
- ・家内の「或る国家資格取得用全寮制学校」への入校が決まった時、東日本大震災が発生した。

このように自身の節目と世間で起こったことを結びつけると「いつ」だったかを後で振り返ることができます。

さて今年12月、西部木材港が開港50年を迎えます。木産協の広報委員会に名を連ねている関係で「開港50周年記念誌」の作製に少しではありますが関わらせて頂き、普段何気なく働いている環境がいかにして出来たか、先人がいかにして造って下さったか、多少なりとも知ることができました。何もないところからの立ち上げ、時代の変化に伴う変遷、なども。（これを機に、桐山富治著「名古屋木材とともに」にも遅ればせながら目を通しました）

西部木材港は50歳になりますが、私もこの11月で50歳になります。「節目」どころか完全に「一致」をみえています。しかし、このことを知ったのは昨年でした。かなりの期間を木材港にある事業所で働いているにもかかわらずこの有様です。一度くらい自身の置かれている環境を歴史の観点から見つめなおすことは必要ではないかと感じました。

ところで、前述の△△の部分には「よくない事」が入ることが多いように思うのは気のせいでしょうか？（印象に残りやすいのかもかもしれませんが）このままでは、私の節目には「何かが起こる」と思われるかもしれませんので、ひとつ目出度い事を…。

実は「入社した年、名古屋木材は設立50周年」でした。

農業文化園 戸田川緑地 秋まつり

親子木工教室開催

～ 色々な木で木琴を作ろう！～

全ての鍵盤に異なる木を使った木琴を親子で作りませんか？
スタッフがお手伝いしながら作業を進めますので、どなたでも安心してご参加いただけます。

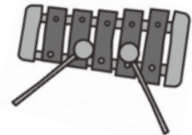
日 時：平成30年10月7日(日)・8日(月・祝)
1回目/10:30～ 2回目/13:30～
(時間は1時間程度)

定 員：各回 先着8組限定

参加費：2,000円(税込)

場 所：農業文化園内フラワーセンター前
名古屋市港区春田町3204

主催及び
問い合わせ先：名古屋木材青壮年会
(052) 331-9386



ぜひご家族で
ご参加ください!

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

蟹江署管内で特殊詐欺の前兆電話が多数架けられています!!

8月中、蟹江警察署管内の一般家庭に、

- ・ 役場職員等を名乗り「医療費の還付金があります」などと嘘を言って信用させ、コンビニのATMへ誘い出し、お金を振り込ませようとする手口
 - ・ 警察官を名乗り「詐欺グループの名簿に連絡先が載っていた」などと嘘を言って信用させ、通帳やキャッシュカードを騙し取ろうとする手口
- の特殊詐欺の前兆電話が多数架けられました

防犯上の注意点

- ・ 役所や警察が、「還付金がある」とか「詐欺グループの名簿に載っていた」などという電話を架けることはありません。
- ・ このような電話が架かってきたら相手にせず警察や家族等に相談しましょう。

◆ 広告コーナー

新型 **GENEO** 誕生!

Clean Tech Diesel

トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
 名港(営) TEL:0567-55-0722
 小牧(営) TEL:0568-77-5365
 高山(営) TEL:0577-33-4020

快適な環境づくりに取り組む

INOUE

■ バグフィルター集塵機	■ 破砕機 ウッドグラインダー	■ 木質ペレット製造装置
■ サイクロン集塵機	■ 粉碎機 ファンシュレッター	■ プリケッタ
■ 定量排出装置	■ 火花探知器・安全装置	■ 送排風機
■ トラック積載装置	■ 異物除去器	■ ダクト部品

井上電設株式会社

名古屋市中区金山4丁目3-17
 TEL (052) 322-5271
 FAX (052) 332-5273

<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail:tech@inoue-d.co.jp

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 嶺木昌行
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会